

# 決勝トーナメント緒戦、佐用署に屈す ―第27回兵庫県警察少年柔道・剣道大会― 於 明石中央体育会館

連日の猛暑が続き、朝の地面から焼けつくような熱気が立ち上がる8月1日(金)、県下の警察署から送り出された柔道28チーム、剣道45チーム(各チーム7名編成)が、明石中央体育会館に参集して、「第27回兵庫県警察少年柔道・剣道大会」が行われた。



三木署チームは、これまで優勝1回、準優勝5回の実績を残しているが、特に21回大会以来、連続3回の準優勝、さらに1年置いて平成24年度も優勝目前に無念の涙をのんでいる。今年はこの精鋭を木下穂玄監督が率いて出場した。

三木署チームは、これまで優勝1回、準優勝5回の実績を残しているが、特に21回大会以来、連続3回の準優勝、さらに1年置いて平成24年度も優勝目前に無念の涙をのんでいる。今年はこの精鋭を木下穂玄監督が率いて出場した。



勢ぞろいした三木署チーム 村岡弘規・加村蓮・橋間祐仁・大前史央(前列小学生)、生友佑磨・岡坂蓮・上垣友基(後列中学生)

メンバーが決定後、幾度かの合同練習を行い、また、志染・別所・剣修会合同合宿に参加。青年指導部小林隆仁副部長の指導を仰ぎ、稽古を重ねて「今年こそ！」と意気込んで大会に参加した。また、この大会は、県警の師範クラスの先生方が揃って審判するなど正確な試合判定に定評がある。三木市在住の伊藤明裕、上野篤良先生もその中に居られた。開会式には県警音楽隊も参加し、その演奏により国歌が斉唱された。

予選は3チーム総当たりのリーグ戦。伊丹・尼崎南と争い、メンバー全員がそれぞれの持ち味を十分に発揮し、ストレートで決勝トーナメントへ進出した。対戦相手は作用署で、先鋒橋間は攻めて打つも相手に技を拾われたかたちで二本負を喫してしまい、次鋒村岡も本領を發揮できなかつた。中堅大前が流れを変えようと必死で食らいつくも、気の焦りもあり、二本負に。副将岡坂は必死に食らいつき引き分けに持ち込み、また生友は大将の意地を見せ小手の二本勝ちを収めたが反撃もそこまで。決勝は一回戦で敗退となったが、7人全員で必死に戦った結果であり、今後の健闘を期待したい。(報告 高橋洋三・木下穂玄)

	先	次	中	副	大	勝	本
尼崎南	細見	神田	窪田	奥	水田	0	0
三木	メメ 橋間	メ 村岡	コ 大前	コメ 岡坂	コメ 生友	5	8

	先	次	中	副	大	勝	本
佐用	林	国上	荒木	東	酒井	3	5
三木	ドメ 橋間	メ 村岡	メメ 大前	メメ 岡坂	ココ 生友	1	2

	先	次	中	副	大	勝	本
伊丹	浅田	辻井	南川	浜名	大南川	0	0
三木	メ 橋間	メメ 村岡	メメ 大前	ココ 岡坂	メメ 生友	4	7